

KENWOOD

VHF FM 無線電話装置

TK-2180

UHF FM 無線電話装置

TK-3180-400

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。



専用充電器以外では充電しないでください。



本機以外の機器に取付けないでください。



火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。



端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。



水の中に落した場合は使用しないでください。



液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。





使用環境・条件

交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。



本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。



AC アダプターの取扱について

指定された電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。



電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。



使用方法について

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカー・マイクロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。



本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



異常時の処置について

内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。



煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。



保守・点検

本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。



⚠️注意

使用環境・条件

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がったり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



充電器の取扱について

充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。



充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っばると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。



使用方法について

アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。



ユニバーサルコネクターには指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。



長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。



保守・点検

お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックや乾電池を外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。



水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。



目次

安全上のご注意.....	2
--------------	---

ご使用の前に

付属品.....	9
バッテリーパックの取り付け / 取り外し.....	10
バッテリーパックの特性について.....	10
バッテリー使用可能時間の目安 (KNB-33L).....	11
アンテナを取り付ける.....	11
ベルトクリップを取り付ける.....	11
ユニバーサルコネクタにカバーを取り付ける.....	12
ユニバーサルコネクタにオプションを接続する.....	12

各部の名称と機能

本体.....	13
表示部.....	16

操作

基本操作.....	18
各キーの操作<基本設定>.....	19
キーに割り当て可能な機能.....	20
キー機能割り当てメモ.....	24

その他

運用上の注意.....	25
保証とアフターサービス.....	26
仕様.....	27

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

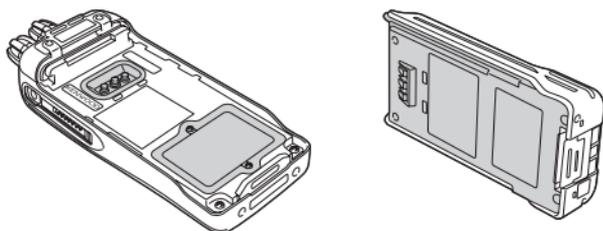


このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

ご使用の前に



- 本体裏側のオレンジ色のパッキング部品は、防水性能上重要な部品です。図のパッキング部品とその周辺、およびバッテリーの裏側にはステッカーなどを絶対に貼付しないでください。防水性能が損なわれ故障の原因となります。また、パッキング部品を汚したり傷つけたり、異物が入らないように注意してください。



付属品

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

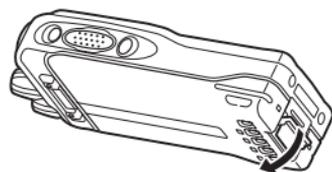
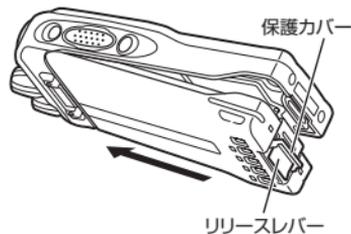
・ アンテナ	1
・ ユニバーサルコネクターカバー	1
・ ユニバーサルコネクターカバー用ネジ	1
・ ベルトクリップ	1
・ ベルトクリップ用ネジ	2
・ 取扱説明書(本書)	1
・ 保証書	1
・ サービス拠点一覧表	1

バッテリーパックの取り付け / 取り外し

● 取り付ける

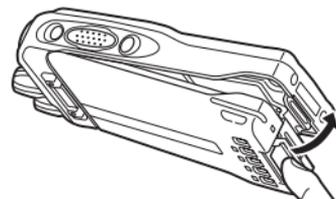
バッテリーパック裏側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、“カチッ”と音がするまではめ込み、リリースレバーをロックさせます。

バッテリーパックの保護カバーを閉じます。



● 取り外す

バッテリーパックの保護カバーを開いて、リリースレバーを指で押し本体からバッテリーパックを取り外します。



バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。そのまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー使用可能時間の目安 (KNB-33L)

使用可能時間は約**8時間**です。(送信：受信；待受＝5%：5%：90%)

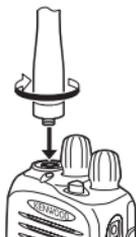
- 使用可能時間は使用環境により上記とは異なる場合があります。
- バッテリー残量表示については表示部の説明を参照してください。



- バッテリーパック、充電器は本機専用品を使用してください。
- お買い上げ時にバッテリーパックは満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたり、分解したりしないでください。

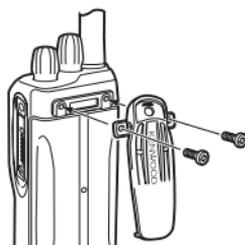
アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクターに時計方向(右)に回して固定されるまで確実に取り付けます。



ベルトクリップを取り付ける

ベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、付属のネジ(3 mm × 8mm)で取り付けます。



- ベルトクリップ取付けられていない時に、連続的に交信をした場合、ベルトクリップ取り付け用のダイカストが高温になる場合がありますので、ご注意ください。
- ベルトクリップ取付けるときに、ねじが緩むのを防ぐために接着剤を使用しないでください。接着剤の中に含まれるアクリル樹脂エステルの影響でトランシーバー背面のパネルが割れる場合があります。

ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける

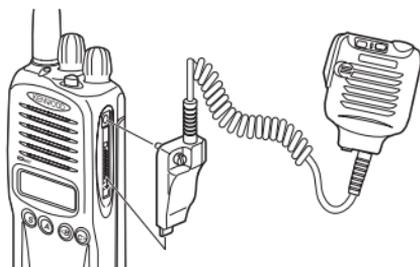
オプションのスピーカーマイクロホンを使用しない場合は、カバーを取り付けてください。付属のネジ (3 mm × 6 mm) を使用して、しっかり固定してください。



- ユニバーサルコネクターカバーを取り付けてないときは、ユニバーサルコネクターは防水にはなりません。

ユニバーサルコネクターにオプションを接続する

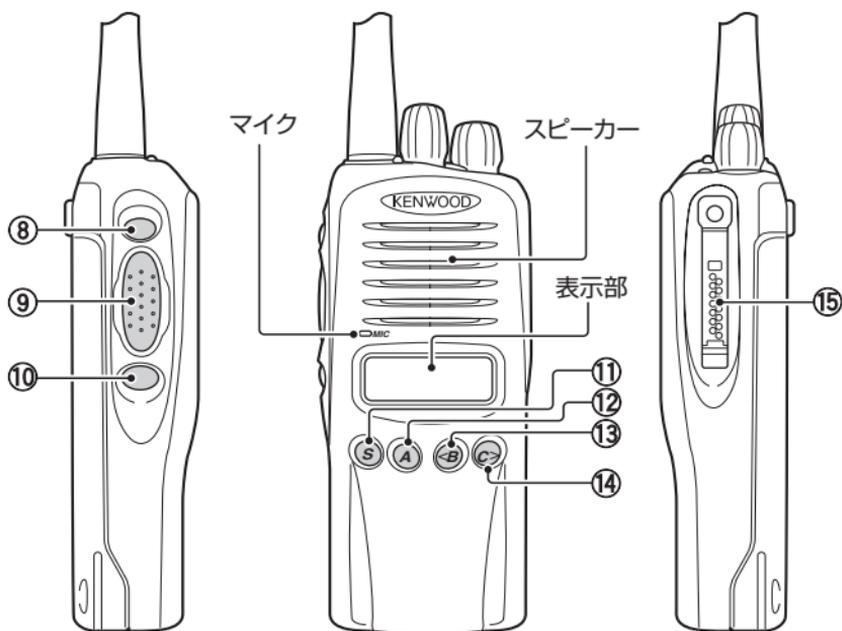
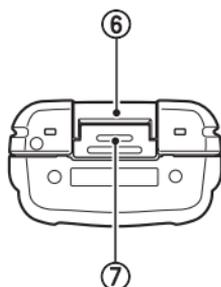
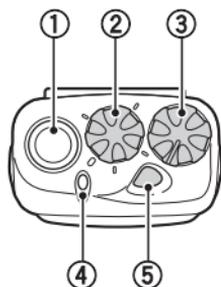
無線機本体のみぞにオプションのスピーカーマイクロホンのガイドを差し込み、ネジでしっかり固定してください。



- オプションを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、断線の原因になります。

各部の名称と機能

本体



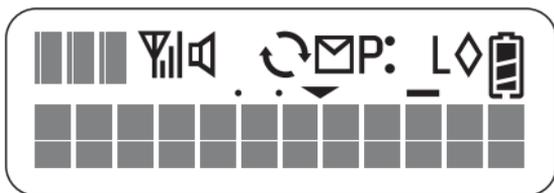
- ① **アンテナ**
- ② **チャンネルセレクター**
チャンネルを選択します。
- ③ **【PWR/VOL】ツマミ**
電源の ON/OFFや音量を調節します。
- ④ **送受信 LED**
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。
- ⑤ **【補助(オレンジ)】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<エマージェンシー>)
- ⑥ **保護カバー**
誤ってリリースレバーを押して、バッテリーパックが外れることを防ぎます。
- ⑦ **リリースレバー**
バッテリーパックを外す時に押します。
- ⑧ **【サイド 1】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<スケルチオフ・モーメンタリー>)
- ⑨ **【PTT】スイッチ**
押すと送信されます。押したままマイクに向かって話します。
離すと受信待受状態になります。
- ⑩ **【サイド 2】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<ランプ>)

- ⑪ **【S】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<キーロック>)
- ⑫ **【A】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<GPS ポジションディスプレイ>)
- ⑬ **【<B】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<スケルチレベル(ダウン)>)
- ⑭ **【C>】キー**
機能が登録できます。
(基本設定は<スケルチレベル(アップ)>)
- ⑮ **ユニバーサルコネクター**
スピーカーマイクロホンなどのオプションを接続します。



- 基本設定は基本仕様で設定されている場合の各キーの機能です。
- キーに設定する機能は販売店にて変更が可能です。(20 ページの「キーに割り当て可能な機能」を参照)
- 設定された機能は 24 ページの「キー機能割り当てメモ」に記入しておくとう便利です。

表示部



表示	説明
	チャンネル名やセレコールメッセージなどを表示します。
	チャンネル番号表示や状態表示します。
	受信電波の電界強度を表示します。
	モニターを ON している時や、スケルチを開いている時に表示します。
	スキャン中に表示します。
	セレコール機能でメッセージメールがあると時に表示します。
P:	プライオリティチャンネルを選択時に表示します。 P[●] : プライオリティチャンネル 1 を選択時 P_● : プライオリティチャンネル 2 を選択時 P[●]_● : プライオリティチャンネル 1 と 2 を選択時
L	ローパワー選択時に表示します。
	ボイススクランブラー機能を ON している時に表示します。

表示	説明
	バッテリーパックの残容量を表示します。  : 満充電  : 充電準備   (点滅) : 充電要
	常時録音中に表示(左●)します。 <オプション装着時>
	留守録音機能を ON している時に表示(右●)します。<オプション装着時>
	表示しているチャンネルがスキャン対象の時に表示します。
	AUX 機能を ON している時に表示します。



- 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

操作

基本操作

待受受信操作

- 1** 【PWR/VOL】ツマミを時計方向に回して電源を ON する
“ピーッ”と鳴って電源が入ります。電源を OFF するには【PWR/VOL】ツマミを“カチッ”という音がするまで反時計方向に回します。
- 2** チャンネルセレクターを回してチャンネルを合わせる
待受受信の状態では相手から送信されると、送受信 LED が「緑」に点灯します。

音量を調節する

- 3** 【PWR/VOL】ツマミを回す
時計方向に回すと音量が大きく、反時計方向に回すと音量が小さくなります。

送信操作

- 4** 【PTT】スイッチを押しながら話す
押しながらマイクに向かって話します。送受信 LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。
マイクは口元から 5cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。
【PTT】スイッチを離すと待受受信状態に戻ります。

タイムアウトタイマー

タイムアウトタイマーは設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止します。設定された時間を過ぎても【PTT】スイッチを押し続けると、警告音が鳴ります（アラートトーン）。警告音は【PTT】スイッチを離すと停止します。

各キーの操作<基本設定>

基本設定時の各キーの動作です。キーの機能は販売店により変更が可能です。

■ 【補助(オレンジ)】キー

押すとエマージェンシー(緊急呼出)の動作をおこないます。

■ 【サイド1】キー

押している間スケルチを開きます。

■ 【サイド2】キー

押すと表示部とフロントキーの照明が一定時間点灯します。

■ 【S】キー

1 秒以上押すごとにキーロックを ON/OFF します。

■ 【A】キー

押すと現在地の緯度、経度、高度を表示します。
<オプション装着時>

■ 【<B】キー

押すごとにスケルチレベル下がります。
弱い電波でもスケルチが開きやすくなります。

■ 【C>】キー

押すごとにスケルチレベル上がります。
強い電波でないとスケルチが開かなくなります。

キーに割り当て可能な機能

各キーには下記機能の設定が可能です。

＜機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。＞

- **無設定**

機能の設定無し(空きキー)

- **AUX**

AUX 出力端子を動作 / 非動作を切り替える機能です。

【AUX】キーに連動してポート出力が切り替わります。AUXポートに接続された外部機器を制御することができます。

- **コール 1 ～コール 6**

【コール 1】～【コール 6】キーに割り当てたステータスやDTMFコードを送出します。

- **チャンネルダウン**

チャンネル番号を 1 つ下げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が下がります。

- **チャンネルアップ**

チャンネル番号を 1 つ上げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が上がります。

- **チャンネルリコール**

スキャン中に最後に呼び出したチャンネル番号を呼び出します。

- **時計**

時刻を表示します。

- **ダイレクト CH1 ～ダイレクト CH5**

【ダイレクト CH1】キー～【ダイレクト CH5】キーに割り当てたチャンネル番号に直接移行します。

- **ディスプレイキャラクター**

メイン LCD 表示を「チャンネルネーム」と「チャンネル番号」に切り替えます。

- **エマージェンシー**
緊急呼出の動作をします。
 - エマージェンシー機能は【補助(オレンジ)】キーにのみ設定可。
- **音量固定**
無線機の様々なトーンのレベルを高 / 低 / OFF に切り替えます。
- **ファンクション**
ファンクション(機能拡張)モードになり、2番目の機能キーを選択できます。
- **GPSデータ送信**
GPSユニットから無線機を経由して受信したGPSデータを、基地局へ送信します。(セレコールの機能) <オプション装着時>
- **GPSポジションディスプレイ**
自局の緯度、経度、高度を表示します。<オプション装着時>
- **ホームチャンネル**
よく使用するチャンネルへ直接移行します。
- **キーロック**
1秒以上押すごとにキーロックをON/OFFします。
- **ランプ**
表示部とフロントパネルキーの照明を一定時間点灯させます。
- **ローパワー出力**
送信出力をローパワーとハイパワーに切り替えます。
- **留守録音**
移動局が無線機から離れているときなどのために、基地局から音声メッセージを録音できます。<オプション装着時>

● **再生**

録音音声を再生します。1 秒間以上押しと音声メモ機能を ON します。〈オプション装着時〉

● **スキャン**

スキャン機能を ON/OFF します。

● **スキャン削除 / 追加**

表示しているチャンネル番号をスキャンの対象にするか、しないかを決定します。

● **スクランブラー**

ボイススクランブラー機能を ON/OFF します。

● **セレコール**

直接 Fleet/ID 番号を入力、または登録されているセレコールリストから選択してセレコールを行うときに使用します。(セレコールの機能)

● **セレコール + ステータス**

直接 Fleet/ID 番号とステータス番号を入力、または登録されているセレコールリストとステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)

● **ステータス**

ステータス番号を入力、または登録されているステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)

● **モニター**

押しごとにモニターが ON/OFF します。

- **モニター**: シグナリングを解除して、受信信号の状態をモニターする機能です。

● **モニター・モーメンタリー**

押している間モニターが ON します。

● スケルチレベル

スケルチのスレッシュホールドレベルを設定するモードになります。

- レベルの切替は【】と【<C>】キーでおこないます。

● スケルチオフ

押すごとにスケルチが開いたり / 閉じたりします。

● スケルチオフ・モーメンタリー

押している間スケルチが開きます。

● トランシーバー・パスワード

権限が無い人に使用されないためのパスワードを設定してある場合に、電源を ON するとパスワード入力待ちになります。

キー機能割り当てメモ

各キーに割り当てられた機能を下の表にメモしておくくと便利です。

キー	割り当て機能	
【補助】		F+ :
【サイド1】		F+ :
【サイド2】		F+ :
【S】		F+ :
【A】		F+ :
【<B】		F+ :
【C>】		F+ :

F+ : は設定した【ファンクション】キーを押した後の2番目の機能です。

その他

運用上の注意

● 免許状

無線局免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則としてできません。

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

● 再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許証の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許証が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証について

● 保証書（別添）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **1年間** です。

修理を依頼されるときは

製品に異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様御自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 修理料金の仕組み（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

型名		TK-2180	TK-3180-400
用途		VHF 帯	UHF 帯
	業務無線機		
送信出力		1W / 5W	
周波数		142.0000 ~ 162.0375 MHz	400.0000 ~ 470.0000 MHz
電波型式		F3E / F2D	
チャンネル数		最大 512	
消費 電流	送信時	1.8 A	2.1 A
	受信時	440 mA	
	受信 待受時	85 mA	
電源電圧		DC7.5 V ± 20 %	
対応防水・防塵 レベル		IP54/55	
寸法※		幅 58 mm x 高さ 136 mm x 奥行 33 mm	
(突起物を含む)		(幅 61.3 mm x 高さ 158.6 mm x 奥行 39.5 mm)	
質量(重さ)※		385 g	

※ KNB-33L 装着時

- 仕様は技術開発に伴い変更することがあります。



Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。リサイクルにご協力をお願いいたします。

使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114

(一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)

携帯電話・PHS・IP 電話からは、045-933-5133

F A X 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日・弊社休日を除く)

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)